

げんでんつるが

特別号
2013年12月
第23号

日本原子力発電株式会社

敦賀発電所では、あらゆる場面を想定した緊急時の訓練を実施しています。

敦賀発電所では、福島第一原子力発電所の事故を教訓に、二度とこのような事故を起こさないため、何重にも安全対策を講じるとともに、対応要員を常に確保し、あらゆる局面を想定した緊急時の対応訓練を継続して行っております。

これからも、皆さまに安心していただけるよう、必要な対策、訓練を実施し、更なる安全性の向上に継続して取り組んでまいります。

福島第一原子力発電所の事故を踏まえた緊急時の対応訓練

電源確保の訓練

電源確保のため、複数の電源車を常時配備し、起動訓練や電源ケーブルのつながり込み訓練を繰り返し行っています。



シミュレーターによる訓練

シミュレーターにて過酷な事故を想定し、事象の把握、対応手順の確認と操作等の訓練を繰り返し行っています。



水源確保の訓練

電源がなくなっても原子炉や使用済燃料プールの冷却に必要な水を補給できるよう、大容量ポンプ車を配備し、操作訓練を繰り返し行っています。



災害対策本部の訓練

緊急時に情報収集や指揮命令を行う対策本部についても、迅速な対応が行えるように、訓練を繰り返し行っています。



火災や負傷者の発生に備えた訓練

火災の発生に備えた訓練

敦賀発電所の自衛消防隊（発電所員による消防組織）は、消防機関と連携し、安全を確保しつつ、発電所における迅速かつ確かな消防活動を実施しております。

また、訓練などを通じて自衛消防隊の活動を評価・検証し、自衛消防体制の更なる充実・強化を図っています。



火災場所までホースを敷設する訓練



火災想定場所への放水訓練

負傷者の発生に備えた訓練

発電所内での負傷者の発生に備え、負傷した作業員の救護、医療機関への搬送の訓練を行っています。



発電所内で負傷者を救護する訓練



救急車で負傷者を搬送する訓練

～皆さまからのご質問にお答えします～

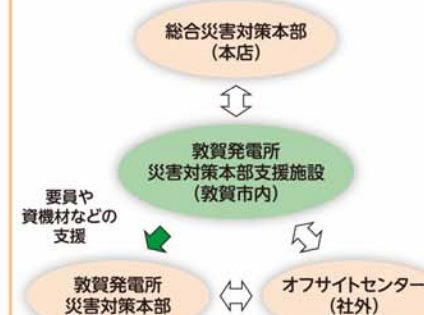
Q：安全対策としての設備や車両などは、十分設備が整っていると思うが、設備を動かす人は常駐しているのですか？
また、緊急時の体制はどうなっているのですか？

A：発電所内および発電所の近傍に常時待機している発電所員が直ちに出勤して、緊急時の対応にあたります。
また、日頃から緊急時用の資機材を利用した訓練を行うなど、万一に備えるとともに発電所の支援体制も充実させました。

緊急時の対応体制

- ・緊急時の初動対応要員として44名が夜間・休日でも発電所内および発電所の近傍に待機
- ・事故時対応要員として、社員100名を常時確保
- ・協力会社からの支援要員約60名を常時確保
- ・道路が使用できない場合に備え、発電所へ迅速かつ確実に移動できるようヘリコプター・船舶などの輸送手段を確保
- ・プラントメーカー技術者の常時配置（美浜町に約10名）

支援施設における 発電所支援体制の強化



敦賀発電所敷地内破砕帯の現地確認について

敦賀発電所2号機原子炉建屋直下を通るD-1破砕帯について、11月26日、27日の両日に原子力規制庁の担当者により現地確認が行われました。

今回の現地確認を踏まえて論点を整理し、今後、原子力規制委員会にて議論されることとなります。



規制庁の担当者による現地確認の様子



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713（土日祝日を除く9時～17時）
敦賀発電所安全対策および敷地内破砕帯調査に係る情報については、当社ホームページにも掲載しています。 <http://www.japc.co.jp>